

## 5A病棟

看護師長 向井 理恵

### 1. 病棟の具体的な目標と評価

#### 1) 安全で質の高い看護を提供する

人工呼吸器管理の OJT 企画書を作成し前期は他病棟へ、後期は日々の実践の中で、新人看護師～若年看護師へ実施し、専門性のある看護実践能力の習得につなげることができた。また、日頃の臨床場面での患者への接し方や行動について、気になる点を挙げ倫理的視点から話し合う場を設け毎月実施することで、倫理感性の向上に繋がった。

#### 2) 病院経営に参画する

病床利用率は、リーダー層を中心に集中治療管理料と医療・看護必要度を意識しながら取り組んだが、ICU:68.0%(前年度 71.5%)、CCU:75.1%(前年度 77.5%)、PCCU:75.3%(前年度 72.7%)となり、重症集中部門の病床利用について課題があがった。しかし、病床管理師長・後方病棟と協力し PCCU の空床確保を行い、CCU・ICU の稼働状況に合わせて対応を医師と相談し決めることで、夜間救急受け入れ体制を整えることに繋がった。

#### 3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

インシデント発生時、ICU・CCU・PCCU 各々が院内の手順・マニュアルを合わせて振り返りを行い、また要因分析や対策立案に努めた。今後は、類似したインシデント防止の為に、病棟全体で共有していく。

#### 4) 専門職としての能力開発に努める

職場教育では、部署の特殊性や新人看護師・異動者、若年看護師それぞれの教育目標を踏まえて、勉強会を計画的に行った。新人看護師の育成・支援では、3 部署の教育チームメンバーが集まり、各部署の新人看護師の状況を情報共有することで、夜勤導入のタイミングや遅出を配置するなど 3 部署で協力し調整することができた。

#### 5) 看護の先輩として学生指導に携わる

統合実習と基礎看護学実習Ⅱを受け入れた。CE を中心に特定のスタッフを学生担当としたことにより、実習担当者が明確となり、学生の実習を支援する体制作りにつながった。

### 2. 病床運営状況

表1 令和3年度 病床運営状況

看護単位	収容可能病床数(床)	月平均		平均在院患者数(人)	平均在院日数(日)	病床利用率(%)	病床稼働率(%)	重症加算病床		集中治療室		死亡者数(人)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)					病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
PCCU	20	108.3	30.8	15.1	6.6	75.3	80.4	12	74.6			12
ICU	6	7.5	1.8	4.1	26.8	68.0	68.9			6	68.8	18
CCU	4	10.8	0.7	3.0	16.0	75.1	75.7			4	75.4	7

### 3. 看護体制

表2 令和3年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)		
73	PNS <sup>®</sup>	ICU 3:3	CCU 2:2	PCCU 3:3

#### 4. 看護統計

##### 1) 重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 3 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ (PCCU)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者の割合 (%)	56.6	58.2	58.8	48.1	62.5	57.3	66.0	57.5	62.6	59.8	66.5	60.7	59.6

表 4 令和 3 年度 特定集中治療室 重症度、医療・看護必要度 (ICU・CCU)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ICUの基準を満たす患者の割合 (%)	92.0	97.4	92.6	93.6	96.3	96.0	95.3	98.5	92.3	97.5	97.2	95.6	95.3
CCUの基準を満たす患者の割合 (%)	97.9	97.9	90.6	92.3	92.0	97.5	92.1	94.8	95.7	97.0	98.8	98.8	95.5

##### 2) 部署データ

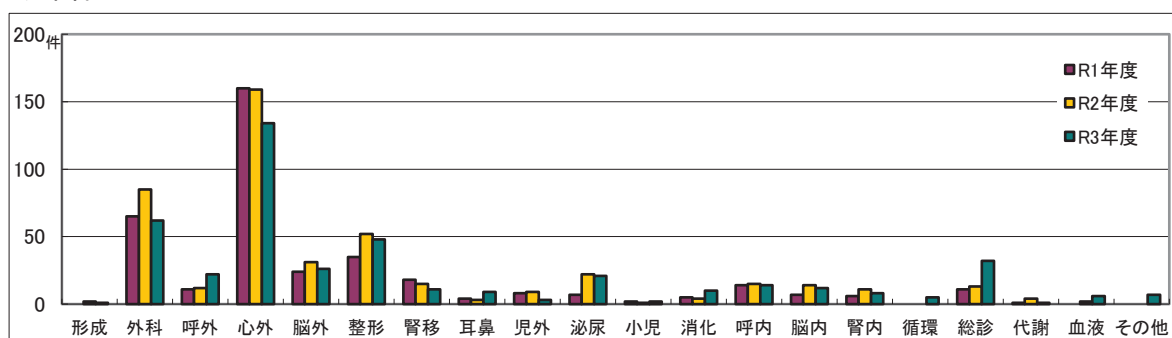


図1 ICU 診療科別患者入室件数

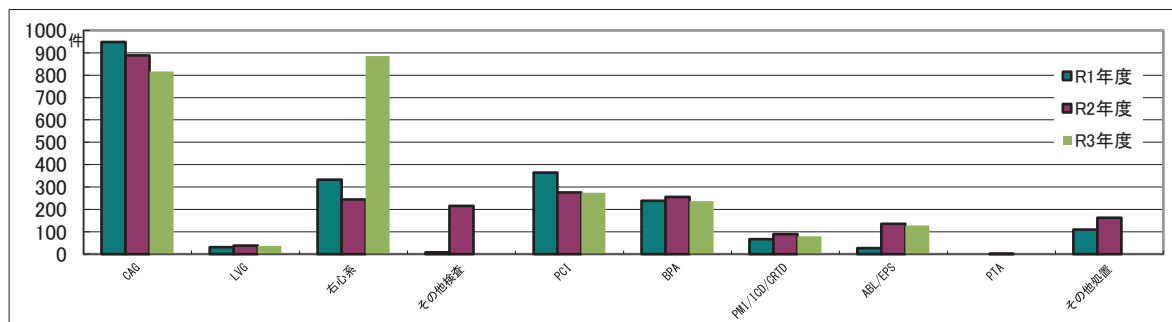


図 2 5階カテーテル検査室 心臓カテーテル件数(検査及び治療・処置)

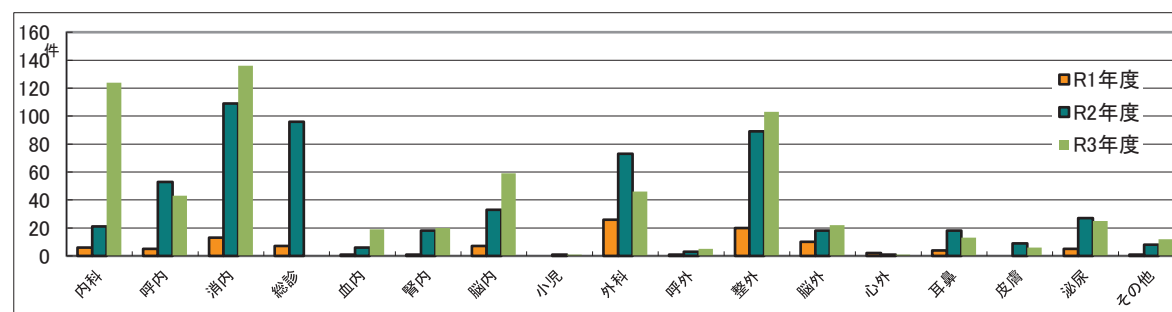


図 3 PCCU 診療科別(循環器内科を除く)夜間救急入院件数